

送り仮名 木

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		稲	偏	憂	鈍	怠	鍛	粘	謹	懲	薰	誉	寿	堤	肘
		トウ いね いな	ヘン かたよ ーる	ユウ うれー える うれーい (うーい)	ドン にぶーい にぶーる	タイ おこたー ーる なまー ける	タン きたー える	ネン ねばー る	キン つつしー む	チョウ こーり る こーら す こーら しめる	(クン) かおー る	ヨ ほまー れ	ジュ ことぶ き	テイ つつみ	ひじ
		稲	偏	憂	鈍	怠	鍛	粘	謹	懲	薰	誉	寿	堤	肘
		稲	偏	憂	鈍	怠	鍛	粘	謹	懲	薰	誉	寿	堤	肘
		ノ	ノ	一	ノ	ム	ノ	、	、	ノ	一	、	一	一	ノ
		⑭ 稲妻 が走る (いなづま)	⑬ 栄養が 偏る (かたよる)	⑫ 備えあれば 憂いなし (うれい)	⑪ 腕が 鈍る (にぶる)	⑩ 練習を 怠ける (なまける)	⑨ 足腰を 鍛える (きたえる)	⑧ 粘り強く 取り組む (ねばり)	⑦ 謹んで 申し上げます (つつしんで)	⑥ 悪人を 懲らしめる (こらしめる)	⑤ 風薫る 季節 (かおる)	④ 秀才の 誉れが高い (ほまれ)	③ 婚姻の 寿を述べる (ことぶき)	② 洪水で 堤が切れる (つつみ)	① 肘を 曲げる (ひじ)

送り仮名 木

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 図書館に 通う	(か よ う)	①⑦ 自 らの意思で動く	(み ず か ら)
② 荷物が 軽く なる	(か る く)	①⑧ 友の 便 りを待つ	(た よ り)
③ 美しい 景色	(う つ く し い)	①⑨ 初夏の 薫 り	(か お り)
④ 悲しい 出来事	(か な し い)	②⑩ 雪の 重 みが増す	(お も み)
⑤ 等しい 長さ	(ひ と し い)	②⑪ 必 ず 成し遂げる	(か な ら ず)
⑥ 主 に 次のように語られる	(お も に)	②② 再 び 訪れる	(ふ た た び)
⑦ 主 な 活動内容	(お も な)	②③ 全 く 役に立たない	(ま っ た く)
⑧ 今年の冬は 暖 かだ	(あ た た か だ)	②④ 病気の予防に 努 める	(つ と め る)
⑨ 彼女の衣装は 華 やかだ	(は な や か だ)	②⑤ 努 めて 事を荒立てない	(つ と め て)
⑩ 結果は 明 らかだ	(あ き ら か だ)	②⑥ 作業時間が 少 ない	(す く ない)
⑪ 手足を 動 かす	(う ご か す)	②⑦ 少 なくとも一日はかかる(すくなくとも)	(す く な く と も)
⑫ 月が 照 る	(て る)	②⑧ 馬を 操 る	(あ や つ る)
⑬ 日が明るく 照 らす	(て ら す)	②⑨ 報告を 怠 る	(お こ た る)
⑭ 責任が 重 たい	(お も たい)	③⑩ 安眠を 妨 げられる(さまたげられる)	(さ ま た げ ら れ る)
⑮ 親子 井 を注文する	(ど ん)	③① 朗 らかな 声	(ほ が ら か な)
⑯ 後 ろに並ぶ	(う し ろ)	③② 健 やかに 育つ	(す こ や か に)

送り仮名 木

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① ひじ を曲げる	(肘)	⑮ 図書館に かよう	(通う)
② 洪水で つつみ が切れる	(堤)	⑯ 荷物が かるく なる	(軽く)
③ 婚姻の ことぶき を述べる	(寿)	⑰ うつくしい 景色	(美しい)
④ 秀才の ほまれ が高い	(誉れ)	⑱ かなしい 出来事	(悲しい)
⑤ 風 かおる 季節	(薫る)	⑲ ひとしい 長さ	(等しい)
⑥ 悪人を こらしめる	(懲らしめる)	⑳ おもに 次のように語られる	(主に)
⑦ つつしん で申し上げます	(謹んで)	㉑ おもな 活動内容	(主な)
⑧ ねばり 強く取り組む	(粘り)	㉑ 今年の冬は あたたかだ	(暖かだ)
⑨ 足腰を きたえる	(鍛える)	㉒ 彼女の衣装は はなやかだ	(華やかだ)
⑩ 練習を なまける	(怠ける)	㉓ 結果は あきらかだ	(明らかだ)
⑪ 腕が にぶる	(鈍る)	㉔ 手足を うごかす	(動かす)
⑫ 備えあれば うれい なし	(憂い)	㉕ 月が てる	(照る)
⑬ 栄養が かたよる	(偏る)	㉖ 日が明るく てらす	(照らす)
⑭ いなづま が走る	(稲妻)	㉗ 責任が おもたい	(重たい)
		㉘ 親子 どん を注文する	(丼)
		㉙ うしろ に並ぶ	(後ろ)

送り仮名 木

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① みずからの意思で動く	(自ら)	☐ ていぼうを築く	(堤防)
② 友のたよりを待つ	(便り)	☐ ちようじゆの祝い	(長寿)
③ 初夏のかおり	(薫り)	☐ ふろうちようじゆ	(不老長寿)
④ 雪のおもみが増す	(重み)	☐ めいよな賞	(名誉)
④ かならず成し遂げる	(必ず)	☐ ちようかい処分を受ける	(懲戒)
⑤ ふたたび訪れる	(再び)	☐ 一度でこりる	(懲りる)
⑥ まったく役に立たない	(全く)	☐ 悪党をこらす	(懲らす)
⑦ 病気の予防に	(つとめる)	☐ きんがしんねん	(謹賀新年)
⑧ つとめて事を荒立てない	(努めて)	☐ きんげんじちよく	(謹厳実直)
⑨ 作業時間がすくない	(少ない)	☐ ねんどをこねる	(粘土)
⑩ すくなくとも一日はかかる	(少なくとも)	☐ 足腰をたんれんする	(鍛錬)
⑪ 馬をあやつる	(操る)	☐ 練習をおこたる	(怠る)
⑫ 報告をおこたる	(怠る)	☐ 臭いにどんかんになる	(鈍感)
⑬ 安眠をさまたげられる	(妨げられる)	☐ 切れ味がにぶい	(鈍い)
⑭ ほがらかな声	(朗らかな)	☐ へんしよくで体力が落ちる	(偏食)
⑮ すこやかに育つ	(健やかに)	☐ いねかりの季節	(稲刈り)